

みやざきの未来を切り拓く インフラ整備

本県では、「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組を切れ目なく推進することで、災害に屈することなく県民の生命と財産を守るインフラの整備を目指します！

この事例集は、このような本県の取組を紹介します。

令和7年2月 都城志布志道路 開通式



令和8年1月
宮崎県 県土整備部



きょう じん か
県土強靱化 推進中!
地震・津波・風水害への備え

目次

【国土強靱化】

P 1 国土強靱化の重要性

【高速道路】

P 2 大規模災害発生時等に **支援路・代替路として機能!** ～ 東九州道 県内初の4車線化～

P 3 高速道路の整備が**緊急搬送時の患者の負担軽減**に寄与

【道路】

P 4 高規格道路の整備により**地域経済が活性化** ～ 都城志布志道路 令和7年3月全線開通～

P 5 橋梁の耐震性能強化で**大規模地震発生時**における**人流・物流の確保!**

P 6 自然災害に備えて**予防保全型インフラメンテナンス**へ移行
無電柱化を推進し**電柱倒壊の影響を受けない、迅速な道路啓開を実現!**

【河川・砂防】

P 7 **流域治水対策**により**浸水家屋数が減少!** ～ 五十鈴川水系 五十鈴川 ～

P 8 **ハード・ソフト一体となった土砂災害防止対策**により **地域防災力が向上!**

【港湾】

P 9 地域基盤産業の**競争力強化** と 災害時の**港湾物流機能維持** ～ 細島港 ～

P 10 **陸路と海路の連携**による港湾物流機能の**強化** と **新たな貨物ニーズへの対応** ～ 宮崎港 ～

P 11 地域基盤産業の**安定** と 災害時の**緊急物資受入体制の確保** ～ 油津港 ～

【都市整備】

P 12 国スポ・障スポ2027開催に向けた **公園整備で防災力向上を推進!**

P 13 「**人中心の空間づくり**」で居心地が良く歩きたくなる**まちづくり**

【河川】

P 14 **みやざきby ALL**で、**流域治水**

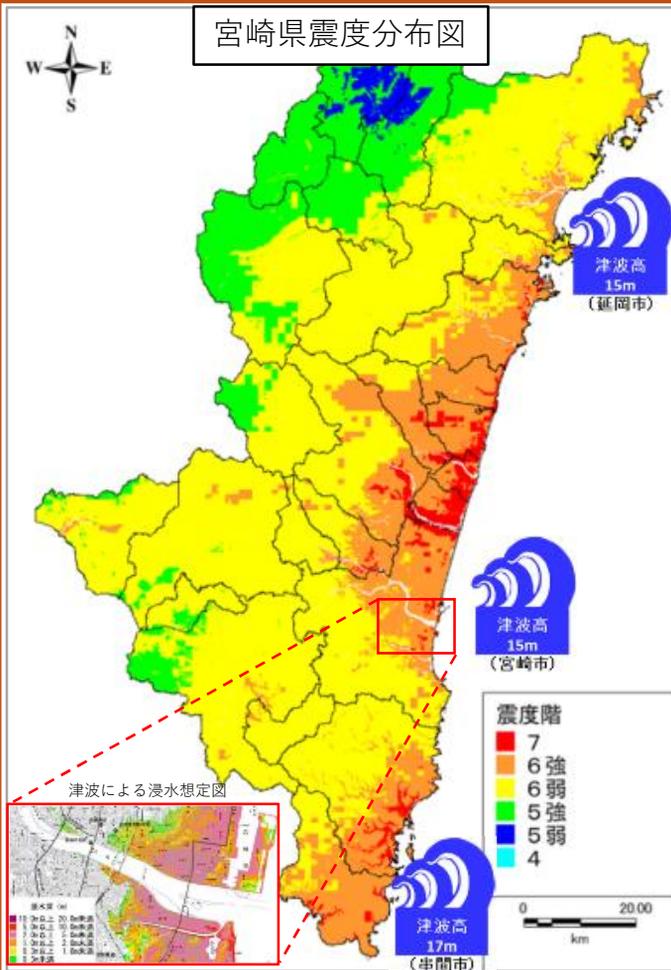
ストック効果とは?



※整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果

宮崎県の南海トラフ地震における被害想定

宮崎県震度分布図



最大震度別市町村

震度7	宮崎市、延岡市、日南市、日向市、串間市、西都市、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
震度6強	都城市、小林市、えびの市、三股町、綾町、美郷町、西米良村
震度6弱	高原町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村

被害項目	R7.3 国想定	備考
死者数	約3万9千人	総人口約100万人
負傷者数	約3万2千人	
避難者	約40万人	
断水人口	約95万人	

未曾有の大災害となる
ことが想定される！

被害を最小限に抑えるために・・・

災害に屈しない国土強靱化推進中！！

気候変動に伴い**激甚化・頻発化**する**気象災害**や南海トラフ地震等の**大規模地震**から国民の**生命・財産・暮らし**を守り、社会の重要な機能を**維持**するための施策。

第1次国土強靱化実施中期計画

交通ネットワークの連携強化



九州中央自動車道 童里トンネル 貫通

インフラ老朽化対策



大淀大橋 橋梁定期点検

流域治水対策



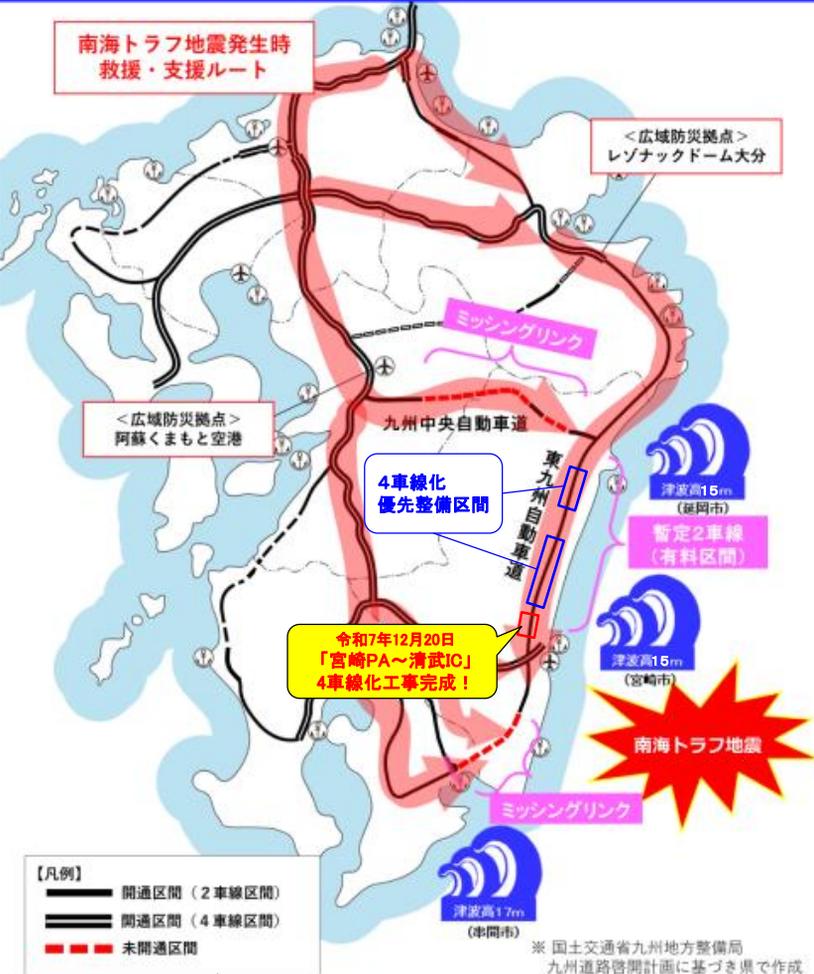
大淀川水系 大岩田遊水地事業

災害時における早期の復旧・復興を支える「陸海空の交通ネットワーク連携強化」、予防保全型メンテナンスによる「インフラ老朽化対策」、ハード・ソフト一体となった「流域治水対策」の取組などを本誌でご紹介！

大規模災害発生時等に 支援路・代替路として機能！

求められるミッシングリンク解消と4車線化

【東九州道・九州中央道】



ミッシングリンク解消

南海トラフ地震発生時の支援ルート確保

南海トラフ地震発生時
東九州地域沿岸部は
大津波により地域が孤立

暫定2車線区間の4車線化

高速道路が被災した際、
早期の交通機能回復

熊本地震の際、九州道は
4車線のため、上り線を利用し
早期に交通機能を確保

災害に強い
道路ネットワーク

安全・安心の確保

県内初

東九州自動車道「宮崎PA～清武IC（L=3.7km）」
4車線化工事完成 令和7年12月20日開通！！

災害時のリダンダンシー機能強化

◆異常降雨によるのり面崩壊等の災害時において、対面通行となる暫定2車線区間では、復旧工事がすべて終わらなければ通行する車線を確保することが困難なことから、通行止めが長時間必要になります。

◆4車線以上の区間では、被災した側の車線の復旧作業を行いながら、同時に反対側の車線を対面通行運用するなど、車線を有効に活用することで、災害時の迅速な交通確保などが可能となります。

西日本高速道路株式会社ニュースリリース資料抜粋



古城橋



清武川橋

暫定2車線区間は、復旧作業が
終わらないと交通確保が困難



4車線のうち、2車線を復旧作業の施工
ヤードとして利用し、早期に交通を確保

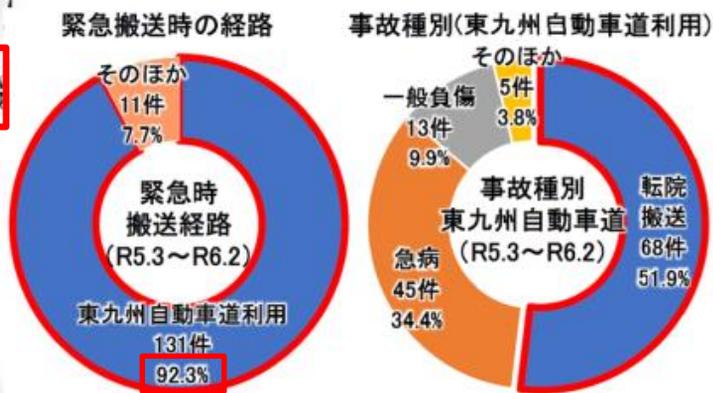


高速道路の整備が緊急搬送時の患者の負担軽減に寄与

- ◆日南市内の第二次救急医療機関での受入れが困難な場合や、第三次救急医療機関での治療を要する重篤患者は、宮崎市内の医療機関への搬送が必要。
- ◆東九州自動車道（清武JCT～日南東郷IC）の整備により、日南方面から宮崎方面への**緊急搬送の約9割が東九州自動車道を利用**、うち約5割が転院搬送による利用。
- ◆東九州自動車道の整備により、**急カーブ箇所を解消し、走行性が向上する**など緊急搬送時の患者の負担軽減に寄与。

◆搬送経路（日南市⇒宮崎市）と国道220号の線形不良箇所の状況

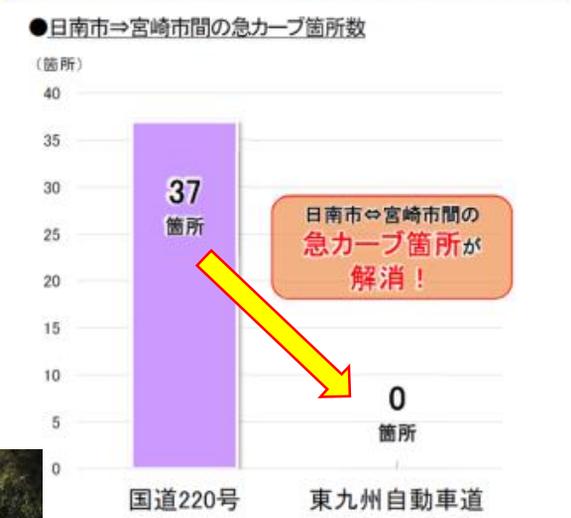
◆緊急搬送時（日南市⇒宮崎市）の利用経路と搬送内訳



【消防本部コメント】

- ◆日南市街地周辺から宮崎市方面への管外搬送の際は、東九州自動車道を主に利用するようになった。
- ◆東九州自動車道はカーブが少なく、運転手の安全管理の負担や患者への横揺れの負担が軽減されたと感じている。

◆急カーブ箇所解消



資料: 道路台帳附図 (日南市消防本部⇒宮崎市第三次救急医療機関) 設計速度に応じた平面曲線半径に満たない箇所を急カーブとして集計

高規格道路の整備により地域経済が活性化！

企業誘致が進む都城IC周辺

都城志布志道路



「道の駅」都城NiQLL
R5.4月リニューアルオープン後、
約2年で来館者300万人突破!!

都城インター工業団地
桜木地区【完売】

都城IC

高木工業団地

JA都城「新・本所」
R5.3月完成!!

都城市郡医師会病院
H27.4月移転!!

都城インター工業団地
高木北地区【整備中】
※令和9年度から分譲予定

都城志布志道路

乙房IC

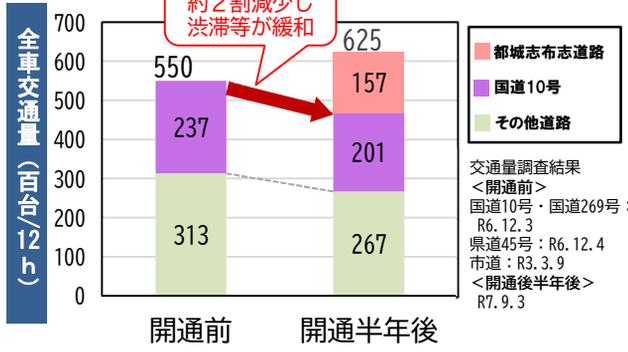
宮崎自動車道



令和7年3月 全線開通！さらなる人流・物流機能の強化に寄与！

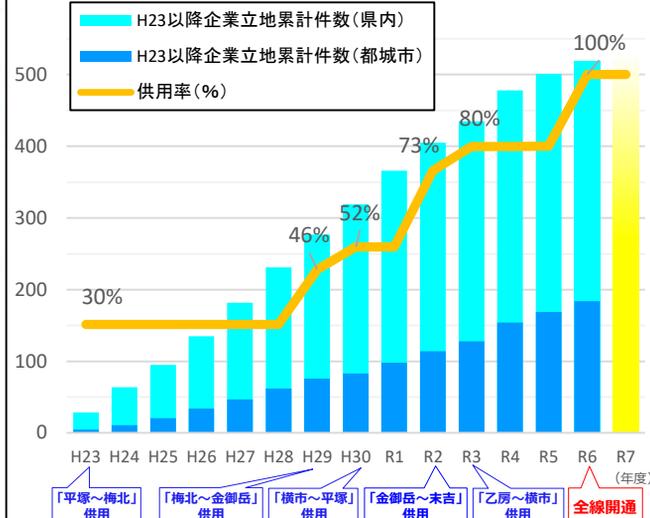
所要時間
約69分→約43分
に短縮

現道の交通量が
約2割減少し
渋滞等が緩和



企業立地件数が年々増加！

企業立地件数・供用率 (全体延長約44km)



橋梁の耐震性能強化で

大規模地震発生時における人流・物流の確保！

第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、切迫する大規模地震に備えるため、九州東進作戦の要となる国道218号(優先啓開ルート)の橋梁の耐震補強を推進！



南海トラフ地震発生時に、熊本、福岡方面からの支援ルートとなる



耐震化が必要な特殊橋梁 全7橋



整備事例



切迫する南海トラフ地震や激甚化する自然災害に備えて 予防保全によるインフラメンテナンスへ移行

【判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況】

2巡目点検（2019～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は、緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、地方公共団体の平均58%（2024年度末）に対し、本県では80%に到達した。

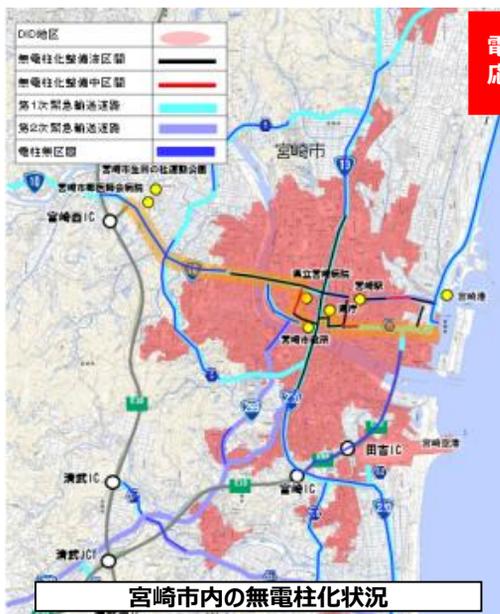


【国道269号（青井岳大橋） 上支材の腐食状況】

急速に進展する道路施設の老朽化に対して、老朽化に伴う事故や機能の低下を回避しつつ、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を行うため、本県では平成22年度から橋梁長寿命化修繕計画に取り組んでいる。

今後は、判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕のほか、**判定区分Ⅱにおいても積極的に修繕を行う**ことで、**予防保全によるインフラメンテナンスへ移行!**

緊急輸送道路等での無電柱化を推進し 電柱倒壊の影響を受けない、迅速な道路啓開を実現!



電柱倒壊等により、速やかな応急復旧・人命救助に障害発生



「宮崎県無電柱化推進計画（2021～2025）」において、①防災、②安全・円滑な交通確保、③景観形成・観光振興の観点から無電柱化を進めており、特に**市街地における緊急輸送道路の無電柱化を重点的に推進**

道路啓開計画の優先ルート区間や交通拠点と防災拠点を結ぶ区間の無電柱化を推進することにより、電柱倒壊の影響を受けない、迅速な道路啓開が実現!

「いのち」と「くらし」を守る

ハード・ソフト一体となった土砂災害防止対策により

地域防災力が向上！

土砂災害から命を守るインフラの強化

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により土砂災害対策事業を推進
令和3～6年度に県内50箇所（保全人家669戸）の砂防関係施設を整備

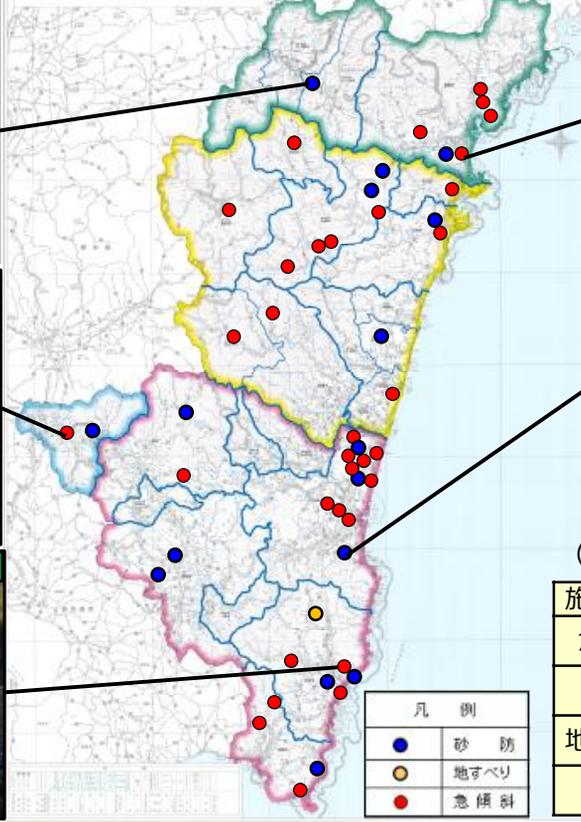
赤谷川(日之影町)



榎田-1地区(えびの市)



岩下-1地区(日南市)



片田第7・8地区(延岡市)



竹之内1谷川(宮崎市)



(令和3～6年度に完成した施設)

施設種類	完成箇所	保全人家
急傾斜	33箇所	357戸
砂防	16箇所	310戸
地すべり	1箇所	2戸
合計	50箇所	669戸

砂防関係施設により土石流・流木やがけ崩れを捕捉し、施設効果を発揮

施設完成時



ずり口谷川
砂防堰堤
(椎葉村)

R4.6.29

【通常砂防事業】平成21年完成
ずり口谷川砂防堰堤
堤高H=7.5m 堤頂長L=39.5m

令和4年9月(台風第14号)



【台風第14号状況】(岩屋戸雨量観測所)
連続雨量713mm、時間最大雨量42mm
土石流捕捉量:約3,500m³(推定)

令和6年10月豪雨



野地第2地区
(延岡市)

R6.10.23

【令和6年10月豪雨状況】(延岡土木雨量観測所)
連続雨量374mm、時間最大雨量72mm
がけ崩れを捕捉し、住家被害を防止

地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

土砂災害警戒区域 指定状況

土砂災害警戒区域15,289箇所
指定率100%を達成

土砂災害警戒区域指定率



土砂災害防止 啓発イベント



パネル・模型展示

県立図書館(R7.6月)

土砂災害防止 教室・講座



土砂災害防止教室

宮崎市(R7.6月)

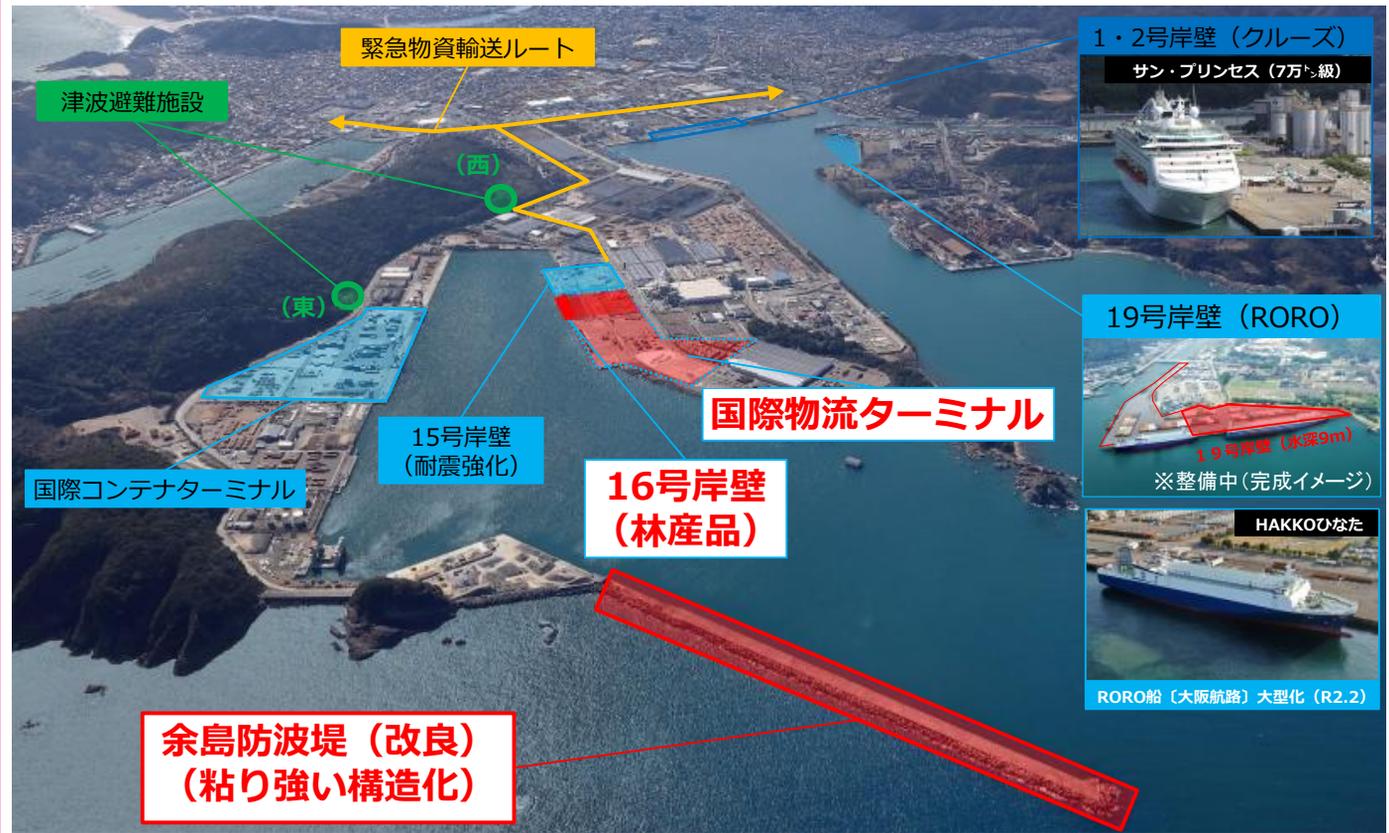
県内の参加人数がこれまでに
延べ3万9千人以上(H21年度～)

土砂災害を想定した 防災訓練

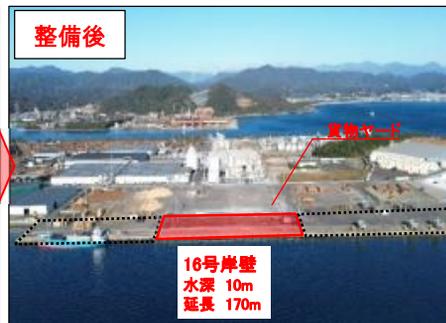


段ボールベッド組立て

日南市(R7.6月)



国際物流ターミナル整備事業 (16号岸壁) の完成!

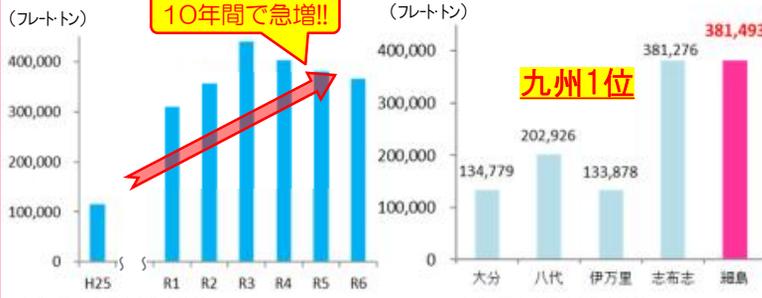


整備効果

- 隣接する15号岸壁と17号岸壁との一体的な利用により、荷役作業が効率化され、利便性が向上しました!
- ふ頭用地の整備により貨物ヤードが確保され、更なる木材取扱量の増加に対応が可能になりました!

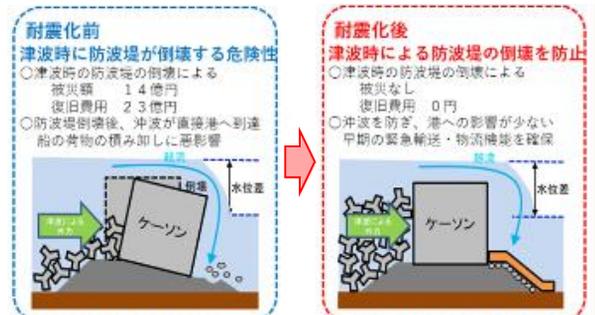
更なる林産品輸移出量の増加に期待!

■ 細島港の林産品輸移出量 (年) ■ 九州港湾の林産品輸移出量 (原木、製材、木材チップ) (令和5年)



防波堤 (粘り強い構造化) の整備

■ 防波堤改良 (粘り強い構造化) の整備効果



防波堤の粘り強い構造化により、想定最大規模の津波襲来後における港湾物流機能の維持が可能に!

陸路と海路の連携による港湾物流機能の強化と 新たな貨物ニーズへの対応

～宮崎港～



西地区の取組状況

■ 宮崎港背後の道路整備



■ カーフェリーの貨物量と乗客数



陸路と海路の整備により **物資輸送機能を強化!**

■ 緑地連絡橋の完成



西地区と一ツ葉地区(阿波岐原森林公園)の周遊性が向上し、更なる**港の賑わいの創出**に繋がる!

供用式典(R6.12.17)



東地区の取組状況

■ ふ頭用地とSOLAS(保安施設)の整備



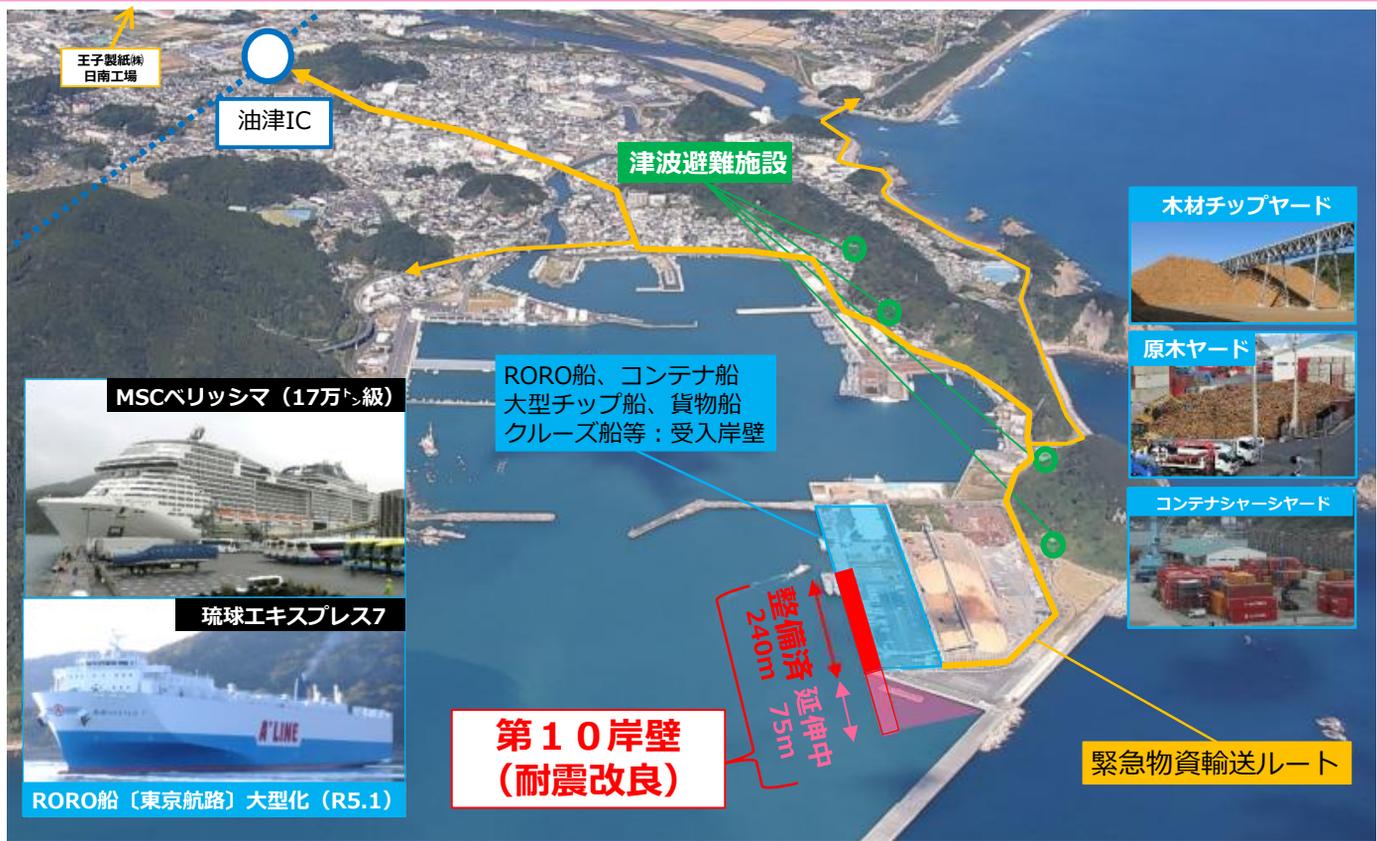
ふ頭用地とSOLAS(保安施設)の整備により、**港湾取扱貨物量の増加に対応!**

■ 宮崎港の原木輸移出量(年)



地域基盤産業の安定と 災害時の緊急物資受入体制の確保

～油津港～



第10岸壁 (耐震改良) の整備効果！

【被災状況】日向灘を震源とする地震 (R6.8.8) [M7.1、最大震度6弱]



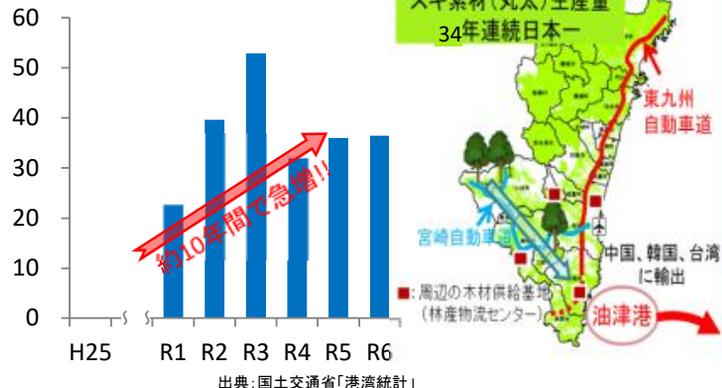
● 延伸により船舶の大型化に対応！



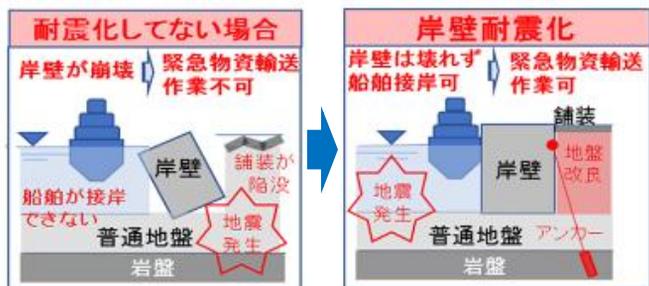
「大型化に伴う離隔不足」
が解消され、貨物船の安全な係留が可能に！

原木輸出量の増加！

■ 油津港の原木輸出量(年)
(千プレートン)



■ 岸壁の耐震化による整備効果



M8.9の大震災発生時、日南市・串間市への緊急物資の輸送が可能に！

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ2027開催に向けた 公園整備で防災力向上を推進！



① 「スポーツランドみやざき」の中核施設である宮崎県総合運動公園に津波避難施設が完成！



南海トラフ巨大地震等による津波から、公園全体で約6万1千人の避難が可能に！
 防災力向上とともに、安全・安心な総合運動公園として、今後、合宿等のスポーツ誘客の更なる増加にも寄与することが期待される！
 防災訓練を実施し広報を行うことで、**県民の防災意識の向上に向けた啓発にも活用**されている！

② 県内市町の都市公園において、防災公園の整備を推進！



日本のひなた宮崎国スポ・障スポ2027の競技施設となる公園整備と併せて、沿岸地域の後方支援拠点等としての機能を持つ、防災公園を整備！
 (県内3市(都城市、延岡市、小林市)において、防災公園事業化済み)

「人中心の道路空間づくり」で居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに貢献!!

～ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用 ～

HAROW高千穂通オープン（R7年4月）



グリーンスローモビリティ運行開始（R2年11月）




パーソナルアクアパーク宮崎

宮崎大学
熊本県立宮崎キャンパス

高千穂通り

高千穂通

広島通り

あみーロード

グリーンスローモビリティの運行ルート

220

10

341

JR宮崎線

新築広域内見通

アミューズプラザ宮崎（やまみ）

アミューズプラザ宮崎（つみか）

高千穂通り

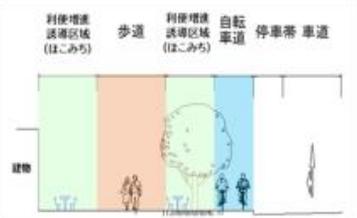
（主要地方道宮崎停車場線）




高千穂通りでは、安全で快適な通行空間や人々が滞在しやすい空間へと再編し、宮崎市や民間と連携しながら、まちなかの回遊性と魅力の向上に資する道路空間の創出を図っています！

パーソナルアクアパーク宮崎オープン（R7年4月）

《計画断面》



利便増進
誘導区域
（ほこみち）

歩道

利便増進
誘導区域
（ほこみち）

自転車
車道

停車帯

車道



道路空間再編を実施

緑陰の連続性を活かした魅力ある景観や快適な都市環境の創出

沿道と一体となって交流が生まれ、憩える空間の創出

安全・安心して歩きやすい歩行空間の確保

多様な交通手段が共存できる空間の形成

HAROW高千穂通前の歩道改築後の状況（R7年5月）

『ほこみち』制度を導入

県内初!!

民地のオープンスペース化
建物低層部のオープン化

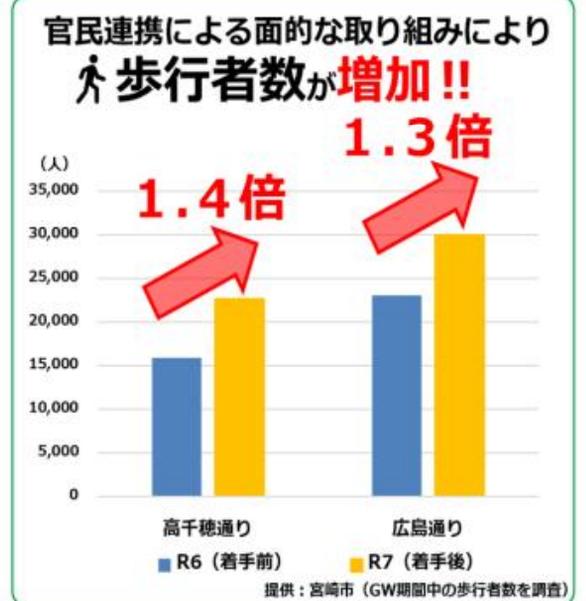
歩行者の滞留空間整備による空間活用の促進

官民共創で滞在環境を向上!

沿道施設と一体となった民間による道路利活用の実施!

地域資源を活かした持続的な賑わい創出に期待!!

HAROW高千穂通前の道路利活用の状況（R7年8月）



宮崎県では、**県内58水系**全てで**流域治水プロジェクト**を作成し、流域に関わるあらゆる関係者と連携により、**流域治水の加速化・深化**に取り組んでいます！

現在、流域治水を推進するため、様々な取組を実施しています！



宮崎県オリジナルロゴ(職員制作)

流域治水模型の作成(R7.1)
(大淀川流域ネットワークとの協働)



テレビ番組への出演(R7.5放送)
県民への普及啓発 (みやざきゲンキTV)



水辺環境調査での模型活用(R7.6)
(都城市立菓子野小学校 外)



耳川フェスティバル in 日向(R7.8)
子どもから大人まで(実行委員会)



豪雨被害を減らすシンポジウム(R7.8)
県民参加 (大淀川流域ネットワーク 外)



五ヶ瀬中学校オープンスクール(R7.10)
(宮崎大学 外 との協働)



**ビル
ミヤ**
-Build Miyazaki-

建設産業の

魅力を

宮崎発信！
県職員が

ビルミヤ
チャンネル



最新情報はこちら
今すぐアクセス♪

ビルミヤch



県職員が自ら情報を発信！

建設産業の「今」をお届け！

～公開中の動画紹介～



宮崎県におけるインフラ整備効果事例集 (vol.12)

令和8年1月発行

宮崎県県土整備部